

パートナーシップ実証実験委託事業のふりかえりシート

はい ← 5・4・3・2・1 → いいえ

事業区分		定形型			提案型		
事業名	聴覚障害者情報保障システム NPO法人設立支援事業	「熊本県男女共同参画推進条例」を周知のための出前講座	歴史公園鞠智城・温故創生館での文化芸術事業	「在宅介護者のためのストレス開放サロン」開設	ゆうきフェスタ2002	障害者の自立支援のための水中トレーニング及び水泳指導事業	
受託団体	NPO法人熊本県次世代情報通信推進機構	NPO法人NPOくまもと	熊本県男女共同参画活動交流協議会	NPO法人パーソナリティプロジェクトチーム	NPO法人ワークショップ「いふ」	NPO法人熊本県有機農業研究会	NPO法人IOB スポーツ推進事業団
(1) 協働事業の採用について							
1	「パートナーシップ(協働) = 行政とNPOが協力しながら事業を進める」ことの目的が達成されましたか？(協働に適した事業でしたか？)	5	5	5	4	5	5
2	相乗効果 = 行政が単独で事業を行ったと仮定した場合以上の効果・成果があったと思いますか？	5	5	5	5	5	3
3	公益 = 多くの人々のために必要な事業でありましたか？	5	5	5	5	5	5
4	協働で事業をすることの社会的認知 = 市民・住民の理解・賛同を得ることができましたか？	3	3	4	4(参加者は知らない)	5	4
5	行政の関わりが適切でしたか？ NPOの意見を聞いてくれましたか？	5	1	5	4(聞いてもらった)	5	5
6	なぜNPOと協働するかについて、行政からの十分な説明はありましたか？ また 理解できましたか？	5	1	5	4	5	5
7	事業の目標設定についての十分な話し合いはできましたか？ また 納得されましたか？	5	5	4	4	5	5
8	NPOの意見を十分取り入れた事業計画でしたか？	5	2	5	委託なので無理だった	5	5
9	事業に充実性(今まで他に実施されたことのない新しい取組み)でしたか？	5	5	5	4	5	4
(2) 目標設定について							
1	目標の設定は適切でしたか？	5	5	5	3	5	5
2	目的を行政とNPOの両者が理解されていたと感じられますか？	5	5	5	3	5	5
3	顧客(サービス提供の相手方)の設定は適切だったと感じられますか？	4	5	4	4	5	4
4	顧客(サービス提供の相手方)のニーズを把握されていましたか？	4	5	4	呼びかけ参加の事業	5	4
(3) 目標達成度について							
1	予定どおり目標が達成できましたか？	5	5	5	5	5	4
2	顧客(サービス提供の相手方)の満足度は十分に高まりましたか？	4	3	4	5	5	4
(4) 協働形態について							
1	行政とNPOの両者の役割分担は適正でしたか？	5	3	5	4	5	5
2	NPOの特性が発揮されましたか？	5	3	5	4	5	5
3	責任の所在が明確でしたか？	5	5	4	4	5	5
4	行政とNPOとの十分な議論を行えましたか？	5	5	4	4	5	5
(5) プロセス・事業手法について							
1	効率的、効果的な事業運営ができましたか？	5	3	5	4	5	4
2	事業進行は適切でしたか？	5	3	4	5	5	5
3	トラブルに適切に対応できましたか？	5	4	5	5	5	5
4	顧客(サービス提供の相手方)との十分なコミュニケーションはできましたか？	4	5	4	5	5	3
5	広報は十分できましたか？	3	5	4	5	5	4
6	行政職員の関わりは適切でしたか？	5	5	5	5	5	5
(6) その他ご自由にお書き下さい							
						県の支援があり、参加を広く呼びかけることができた(小学校や消費者活動をやっている団体に参加を呼びかけて協力してもらえた)。チラシの枚数も単独で行っていた時より多く配られた。会場が2会場借用でき講演会も開催できたし、その講師も東京より呼ぶことができた。環境悪化が云々される中で、有機農業は環境を守るために今後も広く一般に知ってもらい必要があると思うので継続して支援して頂きたい。	